

ガボン共和国月報（2015年5月）

2015年5月号

在ガボン日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 野党指導者オバム氏の埋葬
- 上院における2015年政府修正予算案の可決

【外政】

- 第12回中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）定期首脳会議開催
- 第3回中部アフリカ国連事務総長特別代表主催会議開催
- 第16回中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS/CEEAC）定期首脳会議開催

【経済】

- CEMAC予測：CEMAC経済成長率4.2%（2015）
- IMF予測：CEMAC経済成長率2.2%（2015）
- ガボン国債の格下げ「B+」（フィッチ・レーティングス）

【内政】

1 野党指導者オバム氏の埋葬

4日、4月12日に療養先のカメルーン・ヤウンデで死去した野党指導者アンドレ・ンバ・オバム国民連合（UN）幹事長の埋葬がメドゥーナで行われた。同氏遺体のリーブルビルからの移送を巡って、4月28日から3日間、野党指導者・支持者と空港警察当局との間で小規模な衝突が生じたが、駐留仏軍の仲介を経て、同遺体はオイエム経由で無事メドゥーナに移送された。UNは22日まで喪に服し、全ての活動を停止する旨発表。（4日付GR）

2 ボンゴ大統領によるランバレネ訪問

9日、ボンゴ大統領はモワイアン・オグエ州都であるランバレネを訪問し、現地若者との交流及び市内保健施設を視察した。（11日付GR）

3 リーブルビル郊外住宅地への水道供給開始

19日、ボンゴ大統領は、リーブルビル郊外北部アングンジェ地区アカンダを訪問し、導水工事及び電力供給工事現場を視察した。また、同大統領は、同機会に執り行われた水道開通式に出席し、水道開通を自ら確認した。（20日付UN）

4 上院における2015年政府修正予算案の可決

28日、上院において2015年政府修正予算案が可決された。予算総額は、当初案の3兆733億CFAフラン（約46.9億ユーロ）から4,221億CFAフラン（約6.5億ユーロ）相当の13%相当減額し、2兆6,512億CFAフラン（約40.4億ユーロ）となった。（29日付UN）

【外政】

1 第12回中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）定期首脳会議の開催

6日、リーブルビルにおいて、第12回CEMAC定期首脳会議が約3年振りに開催され、議長の本ゴ・ガボン大統領、サス・ンゲソ・コンゴ（共）大統領、ンゲマ赤道ギニア大統領、デビー・チャド大統領他が出席し、域内治安情勢（中央アフリカ情勢及びボコ・ハラム）及び経済情勢（油価低迷による財政緊張及び地域経済統合に向けた域内自由通行）に関し意見交換を行った。特に、地域航空会社「Air CEMAC」の設立が正式に断念されたことは、CEMACによる地域統合の失敗を印象付ける結果となった。また、本ゴ大統領は、現在進行中のEUとのEPA交渉におけるCEMAC代表に選出された。今次会議をもって、議長国はガボンから赤道ギニアに交替した。（7日付UN）

2 駐ガボン仏大使による本ゴ大統領表敬

7日、本ゴ大統領は駐ガボン仏大使と会談し、二国間協力、6日に開催されたCEMAC定期首脳会議結果、ガボンの議長国就任が正式決定される25日開催予定の中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS／CEEAC）及び本年12月パリで開催予定のCOP21に関し意見交換を行った。（8日付UN）

3 本ゴ大統領によるトルコ公式訪問

12-13日、本ゴ大統領はトルコを公式訪問し、エルドガン大統領と会談を行った。また、文化、科学、外交、エネルギー等に係る協力協定に署名し、二国間関係の強化を印象付けた。同大統領はトルコの経済外交委員会メンバーとの作業部会にも出席し、両国間の経済交流の活発化を通じたトルコの対ガボン投資の増加に向け、トルコ・ガボン・ビジネス委員会の設立が決定された。（13-15日付UN）

4 第3回中部アフリカ国連事務総長特別代表主催会議の開催

17-18日、バティリ中部アフリカ国連事務総長特別代表は中部アフリカ情勢につき意見交換を行う会議を主催し、アッラームミ中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS／CEEAC）事務局長及びンゼンゼ外務次官との間で、政治対話の促進、地域の安定及び持続可能な発展に資する信頼できる平和な選挙の実施の重要性を再確認した。（20日付UN）

5 ガボン・FAO協力：森林エコシステムの持続可能な開発

22日、ガボン森林・環境・天然資源保護大臣は、国連食糧農業機関（FAO）当地代表との間で、ガボンにおける養蜂振興に向けた、総額19万米ドルに上る補助金供与に署名した。右補助金は、現地関係者の作業改善及び森林エコシステムの持続可能な開発・管理に貢献する。（26日付UN）

6 第16回中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS／CEEAC）定期首脳会議開催

25日、チャド・ンジャメナで第16回ECCAS／CEEAC定期首脳会議が開催され、デビー・チャド大統領、サス・ンゲソ・コンゴ（共）大統領、オビアン・ンゲマ赤道ギニア大統領、サンバ・パンザ中央アフリカ暫定大統領、アリ・本ゴ大統領等が出席した。今次会議において、2009年から6年間議長国を務めたチャドに代わり、ガボンが議長国になることが決定し、デビー大統領を継いで本ゴ大統領が議長に任命された。また、

2007年に脱退し、2012年から再加盟を申請していたルワンダのECCASへの復帰が正式に決定された。なお、次回定期首脳会議は2016年5月にガボン・リーブルビルで開催される予定。(21日付GR)

7 中央アフリカ情勢：MINUSCAへのガボン軍兵士派遣

25日、国連中央アフリカ多面的統合安定化ミッション(MINUSCA)に参加するガボン軍兵士約450名が中央アフリカ・バンギに到着した。(26日付UN)

【経済】

1 CEMAC域内の経済成長鈍化：4.2% (2015)

中部アフリカ諸国銀行(BEAC)は2015年域内経済成長率予測値を発表し、油価低迷の影響を受け、当初予測していた5.0%から4.2%に押し下げられる旨発表した。なお、2014年は4.4%であった。(4日付UN)

2 ベルギー官民経済ミッションによるガボン訪問

3-6日、ベルギー・ワロン圏貿易促進公共機関に率いられたワロン地域民間企業18社を代表する約30名がンコック経済特区を視察し、特に木材セクター、梱包業、プラスチック成形加工業、工作機器・重機製造業及び鉄鋼業等に関心を示した。(7日付GR)

3 IMF予測：CEMAC経済成長率2.2% (2015)

当地訪問中のIMFミッションは、昨今の油価低迷による経済活動の縮小は避けられないとして、CEMAC域内の2015年経済成長率を2.2%と予測した。(11日付UN)

4 ガボン国債の格下げ「B+」(フィッチ・レーティングス)

フィッチ・レーティングスは、昨今の油価低迷の経済的・財政的影響を考慮し、ガボン国債の格付けを「BB-」から「B+」に引き下げた。(12日付UN)

5 Nouvelle Gabon Mining 社の操業開始

13日、オナ・オンド首相は、シンガポール資本によって創始されたNouvelle Gabon Mining社の操業開始記念式典に出席した。同社は、フランスビル近郊のマンガン鉱山を開発する。(15日付UN)

6 ガボン政府の不払い問題

ガボン・マユンバのバニオ橋及びチバンガーマユンバ間道路を建設中の伊Santullo-Sericom社は、ガボン政府との間で合意・署名した総額1,580億CFAフランの工事費用が適切に支払われていないとして、ボンゴ大統領に対して支払いの要請を行った。(26日付GR)

出典：PR(大統領府公式HP)、UN(ユニオン紙)、GM(ガボン・マタン紙)、GN(ガボン・ニュース電子版ニュース)、AFP、GA(Gabonactu.com)、GR(ガボン・レヴュー電子版ニュース)、LG(ル・ガボン電子版ニュース)、GE(ガボン・エコ電子版ニュース)